

6. 今後の進め方

湾岸地域の課題

① 広範囲で速度低下や渋滞損失が発生

- ・外環開通後、湾岸地域の広範囲で渋滞損失時間が増加、また、旅行速度が低下。
- ・特に、機能軸①の範囲にあたる船橋市～千葉市の、東西方向の交通で顕著な傾向。

② 一般道に大型車の通過交通が多く混入

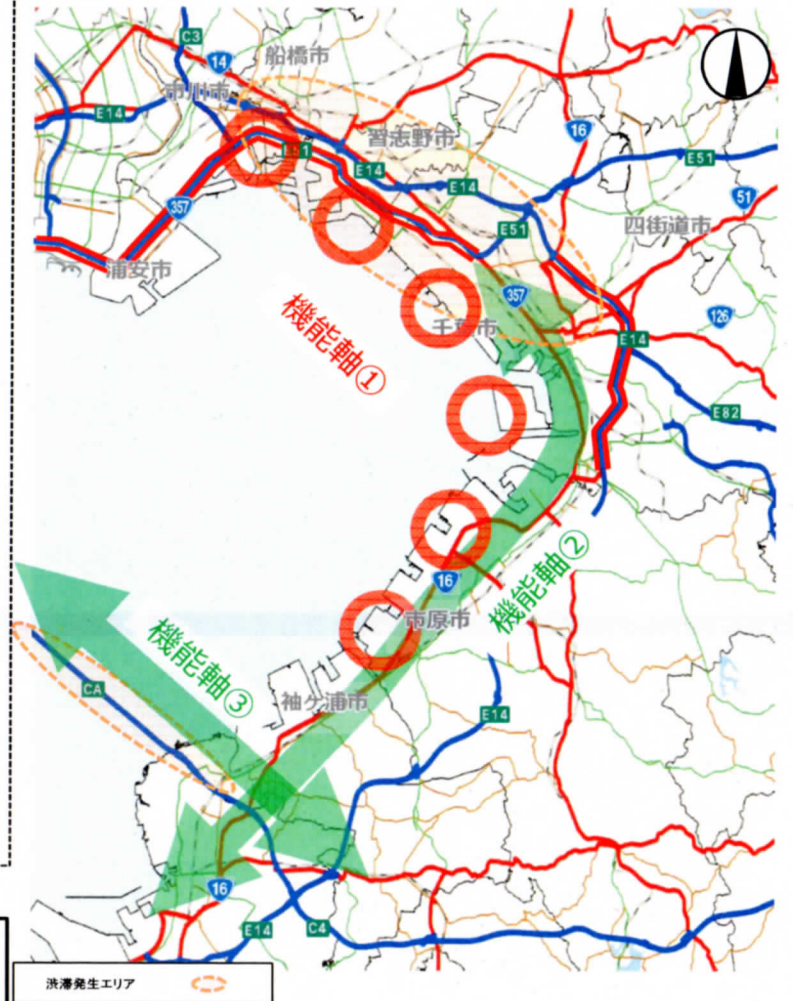
- ・湾岸地域を通行する大型車の多くが、湾岸地域外に出発地や到着地をもつ。
- ・特に、機能軸①の範囲にあたる船橋市～千葉市の一般道（国道14号、国道16号、国道357号）を通行する大型車の約4～8割が通過交通であり、道路の機能分担の見直しが必要。

③ 周辺開発への支援

- ・千葉港の機能強化や物流施設の新規立地などの開発計画により、周辺道路で交通需要の増大が見込まれる。
- ・外環開通後、機能軸①の範囲にあたる船橋市～千葉市の国道357号、東関東道、京葉道路の断面交通量は増加傾向。
- ・さらには多くの箇所で交通容量も超過しており、増大が見込まれる交通需要への対応が必要。

今後の進め方

- ・機能軸①については、交通課題が多く早期の対策検討が必要であり、また、今後開発計画が進む湾岸地域の発展を支えるためにも、具体的な検討を先行して進める。



※○及び矢印は具体的なルートを示したものではありません。

- ・機能軸①については、新たに「(仮称) 湾岸地区道路検討会」を設置し、周辺の開発計画や環境等について十分配慮しながら、規格の高い道路ネットワークの計画の具体化に向けて検討を進める
- ・機能軸②③については、引き続きWGにおいて検討